



片山かおるの ちょっとカエル通信

41号



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2013年4月22日

発行・連絡先：小金井市議会「市民自治こがねい」

小金井市本町6-6-3 tel:042-383-1111

新しい議会が始まりました。 これからの議会構成と議会運営はどうなる？

3月24日の市議会議員選挙を経て、議会構成が大きく変わりました。

新人議員は5人。私も含めて2期目の議員は6人。議会の半分近くが1期と2期の議員です。新鮮な視点で議会運営を市民に寄り添ったものにしていきたいですね。

女性議員が24人中10人になり、前回より1人増えました。女性議員比率は41.6%で、町村をのぞく市区議会の中ではなんと、全国で1位の比率となりました。女性議員としての視点を市政にしっかりと反映させたいです。女性議員同士の交流を深め、女性管理職とも意見交換をしていきたいと思えます。

市民派のベテラン議員が減ったのが残念。市民自治こがねいも2人から1人になり、会派も10にわかれしました。私は前は、6人会派(みどり・市民ネット)でしたが、今回は1人会派でやっといこうと考えています。

片山かおるは、厚生文教委員会と議会運営委員会と、すべての会派が参加する議会報編集委員会に所属。審議会等は三多摩上下水及び道路建設促進協議会と、土地開発公社に所属。前議会と同様、議員の審議会報酬は二重取りになるとの考えから、報酬は受け取り拒否し供託します。

特別委員会はまだ設置されていません。5月から6月の会派代表者会議で再度議論されます。特にごみ問題については、公開が難しい情報も多いかもしれませんが、できるだけ市民にわかりやすくするためにも特別委員会で議論すべきと考えます。議会基本条例についても、一年ぐらいの期間を限定した全会派の議員が参加できる特別委員会か、全員協議会のような議事録が残る公開の場で審議し、早急に制定すべきと考えます。

小金井市議会の会派構成

自民党	露口、湯沢、中山、遠藤、中根
公明党	紀、小林、渡辺ふき子、宮下
共産党	板倉、関根、水上、森戸
民主党	岸田、鈴木
改革連合	五十嵐、篠原
みんなの党・小金井刷新の会	渡辺大三、百瀬
生活者ネットワーク	田頭、林
こがねい市民会議	斎藤
小金井をおもしろくする会	白井
市民自治こがねい	片山かおる

小金井市議会の主な役職

議長	篠原ひろし(改革連合)
副議長	露口哲治(自民党)
監査	宮下誠(公明党)
議会運営委員会	委員長=森戸洋子(共産党)、 副委員長=田頭祐子(生活者ネット)
総務企画委員会	委員長=中山克己(自民党)
厚生文教委員会	委員長=板倉真也(共産党)
建設環境委員会	委員長=斎藤康夫(こがねい市民会議)

片山かおるプロフィール

1966年生れ。2009年より市議会議員。現在2期目。厚生文教委員、議会運営委員、議会報編集委員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟共同代表、市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、緑の党、福島原発震災情報センター、「なくそう子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

第一回定例会は3/7に終わりました

今年度の予算を審議した第一回定例会は3月7日に終了。一般会計予算371億6500万円、特別会計を含むと総計577億4817万円の予算が可決されました。私は再開発事業が計上されている一般会計には反対しました。質疑で明らかになったのは、せっかく充実したスクールソーシャルワークの縮小です。危機的財政状況ということで、今後、福祉、教育に関わる事業が圧縮されていくのではないかと危惧されます。



小金井市アスベスト飛散防止条例、小金井市食育基本条例が可決

議員提案されていた2つの条例が可決されました。アスベスト飛散防止条例は、公開の議員研修会も開かれるなど意欲的な取組みもあり、先進的な内容の条例となりましたが、提案議員間での意見の食い違いもあり、進行が見えにくかったことから、全議員が十分に理解したものになったのが不明です。施行までに条例を有効に活かすための整理が必要だと思います。食育基本条例は有志の議員と市民の懇談会という形で、勉強会が重ねられシンポジウムを開き、これまでに無かった市民と議員が共同作業する形で進められてきました。このような取組みは評価できますが、公式な議事録などが残らず、市民に経過がわかりづらくなっています。こういった問題点をふまえながら、今後の議会基本条例制定に活かしていきたい参考事例となりました。



「脱原発テント」の強制撤去を求める陳情が、全会一致で不採択

現在、経済産業省前の脱原発テントの撤去を求める裁判が起こされています。いまだ収束していない福島原発事故の問題を多くの人目に見える形で訴える拠点であり、脱原発運動を象徴するテントを強制撤去などしないように、小金井からも声をあげていきたいと思えます。

保育園、小学校給食調理委託?

市議会選挙が終わった途端に、保育園業務の見直しが組合に提案され、5校の小学校給食調理の委託を組合が合意しました。子どもの現場が急激に変わっていく恐れがあります。合理化や経済的な視点だけではなく、本当に必要な業務見直しについて精査していきたいと思えます。



困っている人たちを支え合える社会にしたい～小金井の課題はなにか

3月30日(土)の夜中に、小金井街道近くの連雀通り沿いの路上で、女性のホームレスを保護しました。近くで一時宿泊してもらい、次の日、立川のさんきゅうハウス(ホームレス支援)でお風呂に入り、服をもらって食事もいただきました。月曜日によく市役所で生活保護申請し、現在は女子寮に入っています。

何度か面会に行き話を聞いていますが、一人での生活は難しそう。これからも支援を続けていかないとならないと考えています。

さんきゅうハウスでお世話になった時、「ああ、こういう場が小金井にもほしい」と痛切に思いました。支援を受けた当事者が、さらにきつい人を支援するようになる、自然にお互いを支え合う、緩やかなつながり。自分が必要な人間だと実感できる場所です。

自分ができることをちょっとずつシェアし合えば、もっと多くの人気が気持ちよく暮らせるようになるかもしれません。

女性を保護した時に、近くのマンションから、心配した男子学生が差し入れのおにぎりを持って、女性を探しに出てきてくれました。落ち着き先が決まるまでずっと付き添ってくれて、なんと心強かったことか。

生活保護基準の引き下げが行われようとしています。支え合いができる社会にするためには、生活保護受給者をバッシングするのではなく、目を背けないで当事者に向き合い、寄り添っていくことが必要だと思います。

また、保護したのが土曜日の夜だったので、市役所の夜間窓口にも連絡しても、まったく取り合ってもらえなかったのがショックです。市役所で対応できないとしてもどこかの民間支援団体の窓口を紹介するなど、なにかしらの手だてを考えるべきだと思いました。



◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net
 ツイッター：<http://twitter.com/#!/katayamakaoru>